

(6) 平成28年度予算及び決算

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,076	3,156	80	(注1)
うち補正予算による追加	—	80	80	
施設整備費補助金	—	—	—	
うち補正予算による追加	—	—	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	3	24	21	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	28	23	△5	(注3)
自己収入	917	940	23	
授業料、入学金及び検定料収入	810	832	22	(注4)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	107	108	1	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	94	99	5	(注6)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金収入	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
前中期目標期間繰越積立金取崩	—	23	23	(注7)
目的積立金取崩	—	—	—	
計	4,118	4,265	147	
支出				
業務費	3,993	4,033	40	
教育研究経費	3,993	4,033	40	(注8)
診療経費	—	—	—	
施設整備費	28	23	△5	(注9)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	3	24	21	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	94	81	△13	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	4,118	4,161	43	
収入－支出	—	104	104	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった特別運営費交付金が交付されたこと等により予算額に比して決算額が80百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階で予定していなかった設備整備費補助金が交付されたことにより予算額に比して決算額が21百万円多額となっています。
- (注3) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、交付決定額の減少により予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、当初見込みより大学院学生の入学者が増加したこと、大学院学生の休・退学等が減少したこと等により予算額に比して決算額が22百万円多額となっています。

- (注5) 雑収入については、研究関連収入の増加等により予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、当初の見込みよりも産学連携等研究収入等が増加したことから予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。また、決算額には、前年度からの繰越額20百万円が含まれています。
- (注7) 前中期目標期間繰越積立金取崩については、年度途中において事業計画の変更を行ったため予算に比して決算額が23百万円多額となっています。
- (注8) (注1) に示した理由により予算額に比して決算額が40百万円多額となっています。
- (注9) (注3) に示した理由により予算額に比して決算額が5百万円少額となっています。
- (注10) (注2) に示した理由により予算額に比して決算額が21百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、当初の見込みより寄附金事業費が減少したこと及び受託事業費が増加したことから予算額に比して決算額が13百万円少額となっています。